

# 監査結果の公表

(その2)

平成29年度定期監査（その2）を実施した結果の概要を次のとおり公表します。

茂原市監査委員 元吉敬宇  
茂原市監査委員 金坂道人

## 監査の対象

市民部生活課・市民課・国保年金課・健康管理課、福祉部社会福祉課・障害福祉課・高齢者支援課・子育て支援課・鶴枝保育所・五郷保育所・中の島保育所、経済環境部農政課・商工観光課・環境保全課／監査の期間

平成29年10月12日から12月7日まで／監査の場所

茂原市役所、鶴枝保育所・五郷保育所・中の島保育所／監査の方法

監査の実施にあたっては、各所管の財務に関する事務事業が効果的、経済的に執行されているか。住民の福祉の増進に努め、最少の経費で最大の効果を挙げ、組織及び運営の合理化に努めているか。

また、前回の指摘事項の改善はなされているかに主眼を置き、提出された資料・関係諸帳簿を調査するとともに説明を聴取することにより、適正な監査の執行に努めた。

## 監査の結果

計画された事務事業はほぼ順調に進行しており、関係諸帳簿もおおむね適切に処理されていると認められた。

## 主な所見

事務事業の執行状況に関する所見は次のとおりであるので、検討のうえ一層適切に事務事業が執行されるよう要望する。

- ◎高齢者による交通事故防止対策については、高齢ドライバーによる交通事故増加の要因には、加齢による身体能力や認知機能の低下などがあることとみられていることから、自主的に運転免許証の返納を促すなど、警察署あるいは関係団体等と連携し高齢者の交通安全対策に取組まれない。
- ◎健康づくりの推進については、市民の平均寿命と健

康寿命の差がやや改善されてはいるものの、生活習慣の改善による平均寿命の延伸は高齢化社会の中で、重要な課題であることから、市民への健康づくりの動機づけとして、自分の健康は自分で守るという健康意識の醸成を高め生活習慣病予防、介護予防に取組まれない。

◎茂原市社会福祉協議会の運営については、前年度、前々年度においての当初予算額に対して決算額に執行残が生じていることから、経費の効率的使用に供するため、予算執行の適正化、予算積算の精査に努められたい。また、自主財源を生み出すため、収益事業等独自施策の拡大及びコスト意識付けなどの指導をされたい。

◎生活困窮者対策については、失業・病気・人間関係など様々な理由で困窮している者に対する支援をさらに充実させ、自立促進を図られたい。

◎生活保護については、国において患者負担の軽減や医療保険財政の改善の観点等から後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進を図っており、医療扶助においても、後発医薬品のさらなる使用促進に取組まれない。

◎障害者差別解消については、障害のある人への合理的配慮などを通じ、共生社会の実現を目指す「障害者差別解消法」の施行から1年半が経過したが、社会のバリアフリー実現は、未だ大きな課題であり、会社や店舗などの事業者が適切に対応するための対応指針の周知に努められたい。また、障害者差別を解消するための取組みを行うための地域のネットワークである障害者差別解消支援地域協議会の早期設置に努められたい。

◎高齢者支援については、意欲のある高齢者が活躍し続けられる生涯現役社会の実現は、少子高齢化を乗り切る上で欠かせない課題であることから、高齢者が能力

を發揮し、社会に貢献できる環境整備として、就労やボランティア活動等地域活動のための情報を集約し、情報提供・相談・紹介を行う総合相談窓口の設置を検討されたい。

◎介護保険制度の改正による介護予防・日常生活支援総合事業については、市町村事業に移行した軽度の要支援者等に対して、今までと同じサービスを提供しつつ、様々な生活支援ニーズに対応するため多様な担い手確保による地域住民で支え合う仕組みについて、万全を期して取組まれたい。

◎保育所については、待機児童の定義の見直しなどにより待機児童が71人（H29年10月1日現在）と増加していることから、子どもを産み育てやすい環境づく

